

令和7年度「児童生徒の生活と規範意識に関するアンケート調査結果」

群馬県警察本部子供・女性安全対策課

1 目的

近年、SNS等の利用に起因して子供が犯罪に遭うケースが跡を絶たない状況にあることから、学校の児童・生徒に対し、携帯電話等の利用状況に関するアンケート調査を行ったもの

2 調査対象

群馬県内の小学校5年生～高校2年生の合計7,794人

小学校23校 2,189人(5年生 1,080人 6年生 1,109人)

中学校11校、3,193人(1年生 1,017人 2年生 1,036人 3年生 1,140人)

高等学校6校 2,412人(1年生 1,216人 2年生 1,196人)

合計40校 7,794人

3 調査期間

令和7年10月1日(水)から令和7年10月15日(水)までの間

4 調査結果

(1) 基本情報

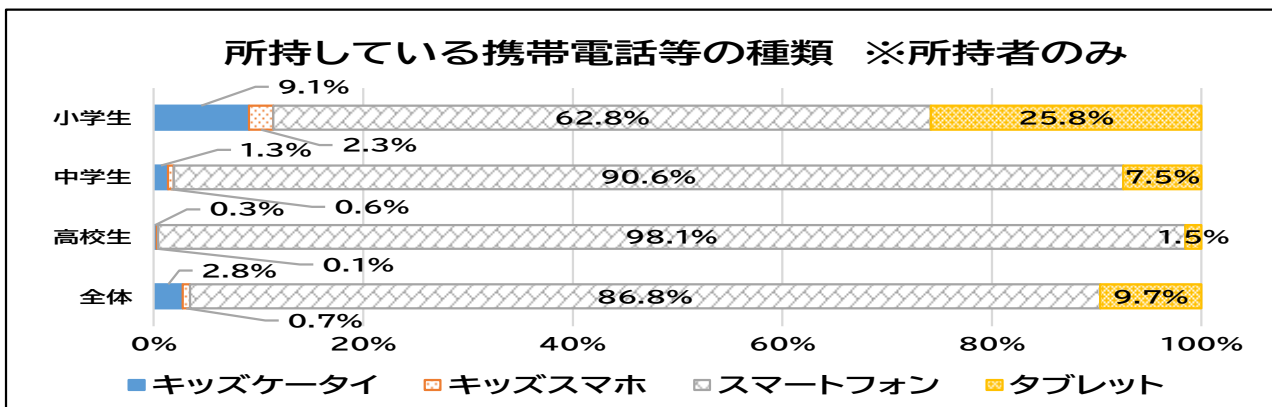
ア 携帯電話等(携帯電話、タブレット)を所持した時期

現在の学年	現在携帯電話等所持している児童の所持した時期における割合					
	小学校入学前	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学生	高校生
高校生	1.1%	6.3%	10.0%	20.3%	45.1%	17.4%
中学生	4.4%	9.6%	19.0%	37.4%	29.6%	
小学生(高学年)	16.9%	22.1%	29.7%	31.3%		
	68.7%			70.4%		82.8%

○ 携帯電話等の所持開始時期を見ると、小学生では68.7%、中学生では70.4%、高校生は82.8%が、現在の学年より前の時点で所持を開始しており、校種が下がるほど、所持開始時期が早くなっている傾向が見られた。

特に小学校高学年生では、16.9%が小学校入学前に所持を開始している。

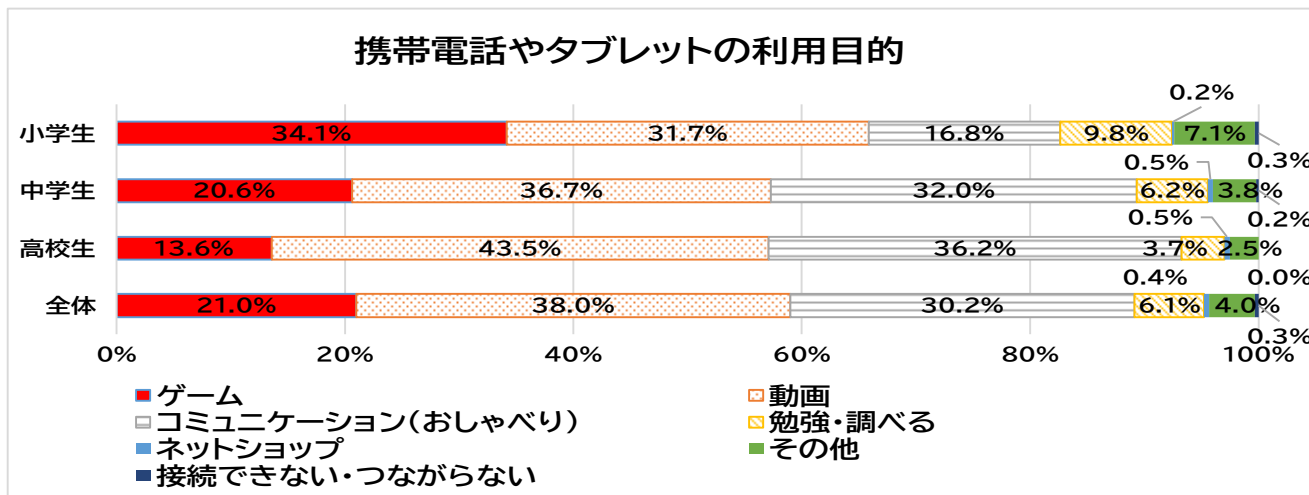
イ 所持している携帯電話の種類について(所持者のみ)



○ どの校種ともスマートフォンの所持が多く、次いでタブレットとなっている。少数であるが、キッズケータイ・キッズスマホの所持も見られる。

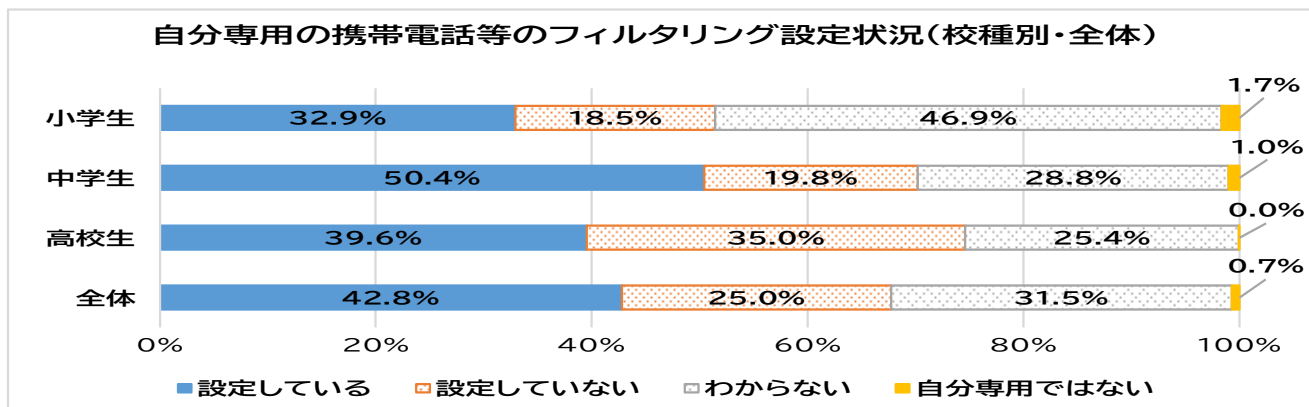
\*キッズケータイ・キッズスマホは、通話、防犯ブザー、位置情報確認、SNS、写真撮影等が主な機能であり、通常のスマートフォン等よりも機能制限が多い。

ウ 携帯電話等の主な利用目的



○ 最もよく使うものを1つ選択してもらったところ、小学生はゲーム利用や動画視聴、中学生や高校生は動画視聴やコミュニケーションでの利用傾向が多い。

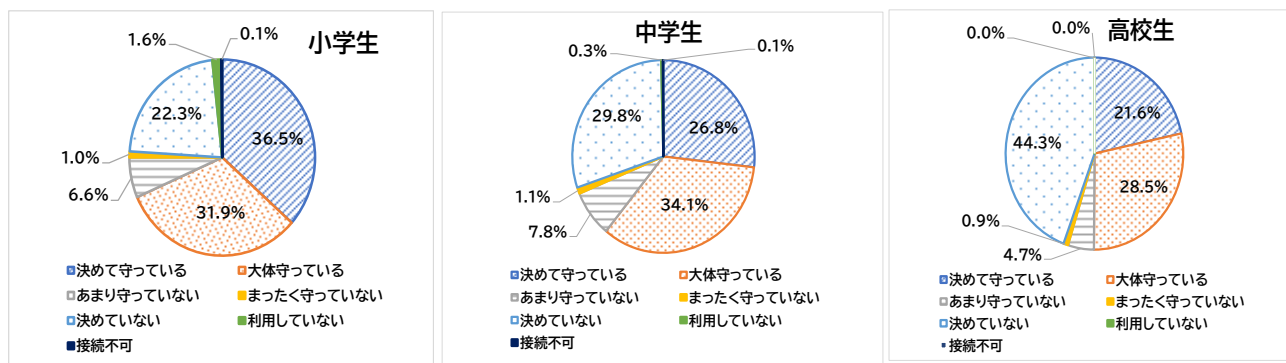
エ フィルタリング設定状況



○ 「設定している」の小・中・高の平均は42.8%(前年度比+2.9P)

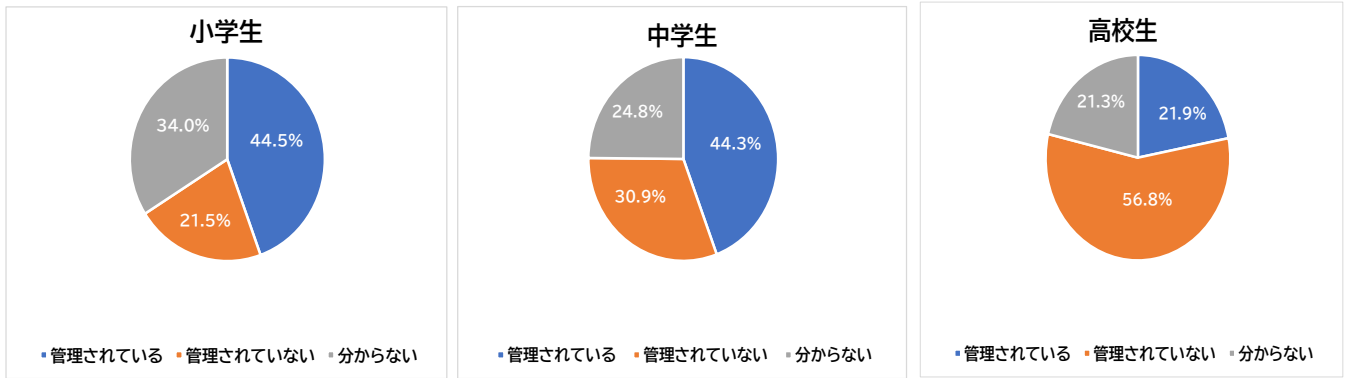
○ 「設定していない」の小・中・高の平均は25.0%(前年度比+1.2P)

オ インターネット利用に係る家庭でのルールと遵守状況



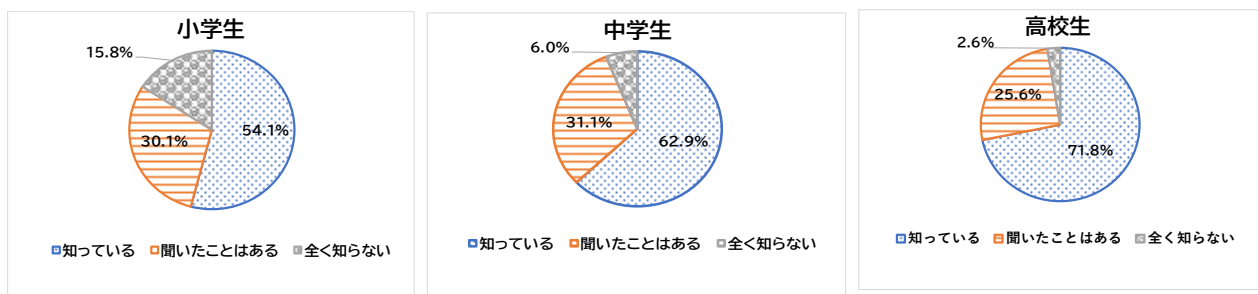
○ 「家庭でのルールの有無と遵守状況」について、「ルールを決めていない」と回答した割合が小学生22.3%(前年度比+2.1P)、中学生29.8%(前年度比+3.0P)、高校生44.3%(前年度比-3.0P)と答え、校種が上がるごとに増加している。

## カ 携帯電話の管理について



○ 「管理されている」割合は校種が上がるにつれて、管理の低下が見られる。

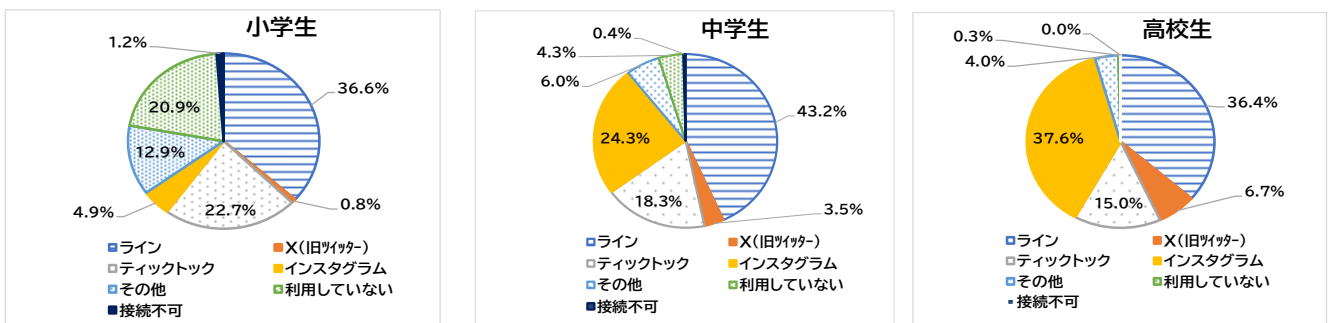
## キ セーフティネット標語「おぜのかみさま」の認知度(対象者全員が回答)



○ 「全く知らない」という回答が小学生15.8%(前年度比+3.9P)、中学生6.0%(前年度比+2.7P)、高校生2.6%(前年度比-1.6P)と多いことから、セーフティネット標語「おぜのかみさま」の周知啓発を更に高めていく必要がある。

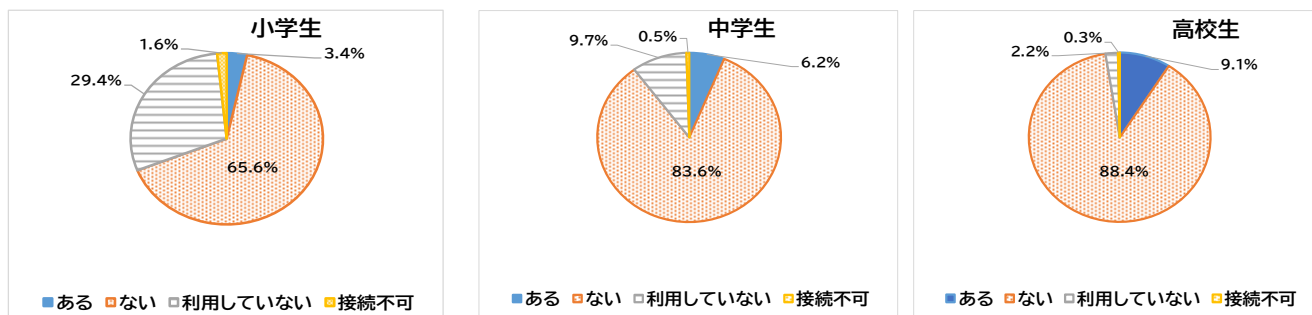
## (2) SNSの利用状況等

### ア SNSの利用状況



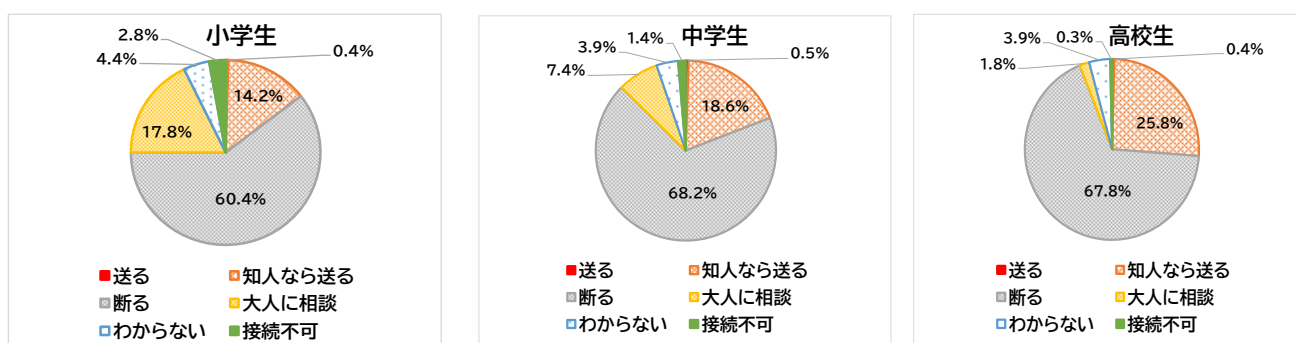
○ 全校種で、ラインの利用が多く、中学・高校生ではインスタグラムを利用している子供の割合が高くなっている。

## イ SNSで知り合った人と直接会ったことがある



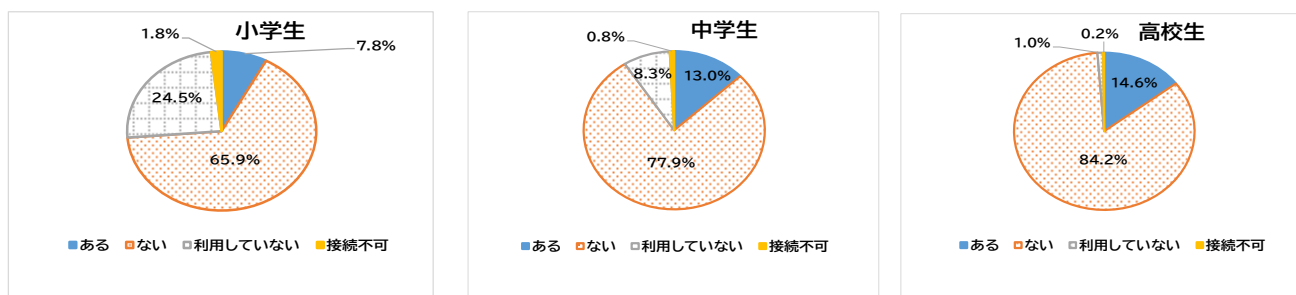
- 「直接会ったことがある」と回答した割合は、校種が上がるごとに増加傾向にある。引き続き、予防教育等で、直接会うことが犯罪被害に遭う可能性が高まることを啓発する必要がある。  
 (小学生:前年度比+1.3P、中学生:前年度比+2.5P、高校生:前年度比+0.6P)

## ウ SNSで自分の画像を送ってと頼まれた時の反応について



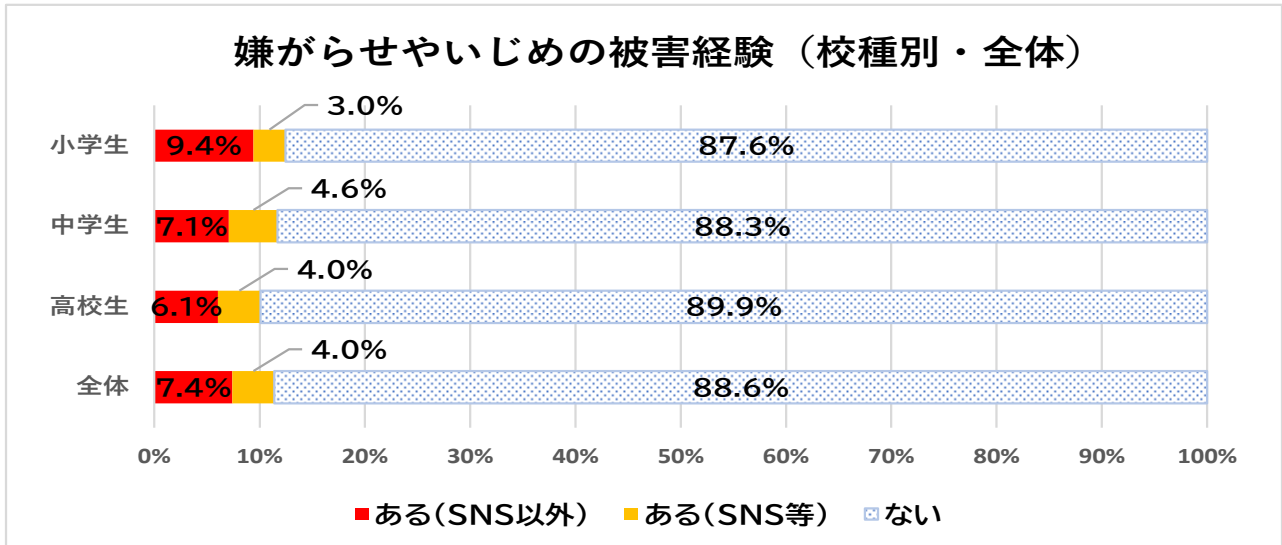
- 「送る」と回答した割合は少数だが、「知人なら送る」は、校種が上がるごとに増加している。  
 ※「送る」「知人なら送る」の合計  
 (小学生:前年度比+3.8P、中学生:前年度比+1.0P、高校生:前年度比+3.9P)

## エ SNSで闇バイトの情報を見たことがある



- 「ある」と回答した割合は、校種が上がるごとに増加している。  
 (小学生:前年度比-0.8P、中学生:前年度比+0.3P、高校生:前年度比+0.9P)

オ 嫌がらせやいじめられた経験がある



○ 「SNS等被害」は、小・中学校で増加している。

（小学校：前年度比+2.3P、中学校：前年度比+2.6P、高校：前年度比-0.3P）